

神石高原町地域公共交通協議会

平成20年3月18日設置
平成21年3月10日連携計画策定



概要

神石高原町では、1 住民ニーズに対応した利便性の高い地域公共交通体系の構築 2 持続可能な地域公共交通体系の構築 3 官民協働による地域公共交通システムの構築 を基本方針に、平成21年3月に地域公共交通協議会において、「神石高原町地域公共交通総合連携計画」を作成し、公共交通の再生及び活性化を目指し、次の事業を平成21年度から3年間実施する。

○スクールバスを活用した町営バス事業

小中学校のスクールバス路線のうち、一般住民の交通手段として活用できる路線についてスクールバスの空き時間を利用して町営バス運行を行い、交通サービスの充実を図る。

○乗り継ぎバス停の待合環境施設整備

路線バス(株)中国バスと町営バスと予約乗合タクシー「ふれあい号」との乗り継ぎ等で、利用者が増加すると見込まれるバス停においては、待ち時間の快適な環境を確保するために屋根付休憩所等の整備を行う。

○公共交通の利用促進策の実施

※「バス運賃の引き下げ」町内区間 上限300円

住民の運賃負担を軽減して、路線バスの利用を促進するため、路線バス運賃引き下げの実証を行う。当初、1年間試験的にこの制度を実施し、バス運賃の引き下げに伴うバス利用の促進効果を検証し、平成22年度に導入されるICカードの普及と併せて方向性を検討する。

※「バス利用実態調査」

住民ニーズに合わせ たダイヤ編成を検討するため、路線バスの利用実態を全路線の全区間を利用実態調査を行う。

(年2回 7月・2月)

※「わかりやすい時刻表の作成」

路線バス・予約乗合タクシーの利用促進を図るために、予約乗合タクシーの運行区域毎に、時刻表等を記載した公共交通カレンダーを作成する。

